

T I C A D 閣僚会合テーマ別イベント
公益財団法人日本国際交流センター・
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催
「アフリカにおけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のためのグローバルヘルス・ファイ
ナンシング：成果の最大化に向けたパートナーシップをいかに推進するか」

(8月26日(月) 9:30-13:00)

穂坂外務大臣政務官による開会式挨拶

グローバルヘルス・イニシアティブ代表者の皆様、御列席の皆様、外務大臣政務官の穂坂泰
です。本日のイベントは、T I C A D 閣僚会合の締めくくりを飾るイベントです。

我が国は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成に向けた取組を一貫してリー
ドしてまいりました。また、UHCを達成するにはファイナンシングが喫緊に重要です。現実
的な問題として、多くの課題に対峙しているドナーにとって、保健分野に特化して資金の拠出
額を増やすことは容易ではありません。この点、アフリカ各国が既に取り組んでいるように、
それぞれの国のオーナーシップに基づく国内資金動員を一層進めていくことが極めて重要で
す。

更に、公共部門の資金のみならず、民間資金を動員することは、持続可能なファイナンシ
ングの観点から必要不可欠です。日本は、昨年、国連総会ハイレベル会合の機会に、「グローバ
ルヘルスのためのインパクト投資イニシアティブ」、いわゆるトリプルIを立ち上げました。
また、持続可能なファイナンシングには、「いかにして資金を多く確保するか」だけでなく、
グローバルヘルスに関わる様々な主体間の役割分担や資金の流れについて、重複を排除し、相
互補完させることも重要です。

援助効果を最適化するためには、各機関の調和を確保し、個々の疾病への対応のみではなく
保健システムやUHCへの投資こそが大切であると、我々は考えております。この点を明確に
指摘したFuture of Global Health Initiatives (FGHI) の成果文書である「ルサカ・アジェ
ンダ」を日本は歓迎しています。また、UHCへの貢献の観点から、我が国は、UHCに係る
知見の共有や財務・保健当局の人材育成を支援する世界的な拠点である「UHCナレッジハブ」
の立ち上げを目指しており、同取組は意義深い役割を果たせると確信しています。

UHCとグローバルヘルス・ファイナンシングについて、アフリカ諸国が集うT I C A Dの
場で議論することは、重要な意味を持ちます。限られたリソースを効率的に活用してUHCを
達成することこそが、アフリカの保健課題の解決に資する処方箋だからです。本イベントにお
ける議論が、アフリカを始めとする国際社会の全ての人の健康に貢献することを願ってやみま
せん。御静聴ありがとうございました。